

No.	Plan					Do	Check							Action		担当部署				
	総合計画基本計画	款	項	目	事業名		事業の目的	事業の概要	H29実績	事業費H29決算見込額(千円)	成果指標名	H28成果	H29目標	H29成果	必要性		有効性	効率性	評価理由	事業費の方向
51	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	長寿祝訪問費	これまでの社会に貢献してきた高齢者に対して、ねぎらい、感謝、尊敬の意を表し、長寿のお祝いをする。	長寿者(平成29年度は99歳及び最高齢者、平成30年度は100歳及び最高齢者)を対象に長寿祝訪問を実施。対象者へは祝金(100歳3万円、最高齢者1万円)、寿詞等を贈呈する。	長寿訪問者(99歳)19人及び最高齢者1人を市長が訪問。	673	長寿者訪問件数	22	27	20	B	B	B	表彰を生きがいとしている人もいるため、廃止するわけにはいかないが、経費のかけ方については検討の余地あり。	維持	高齢化が進んでいるため、対象者の微増とともに経費も微増。	長寿介護課
52	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	軽度生活援助事業	・高齢者福祉の充実 ・軽易な支援を行うことで、高齢者の自立生活の助長や介護予防につなげる ・シルバー人材への委託とし、高齢者の社会参加や介護予防に寄与	・独居高齢者等への買い物や日常生活の軽易な援助(修繕等)を行う(生活に支障のある範囲のみ支援) ・申請後、職員の訪問による確認作業後に可否決定	利用者7人(新規1人、廃止4人)	43	新規利用者数	1	6	1	B	B	B	他に代替えできるものがないため事業継続が必要だが、今後総合事業のサービスを拡大していく際には調整・検討が必要。	維持	事業の周知、啓発を図る。	長寿介護課
53	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	・高齢者福祉の充実 ・寝具洗濯にて疾病予防 ・住み慣れた地域や在宅での生活維持	・寝たきり高齢者や独居高齢者など寝具の衛生が困難な方に対し実施 ・寝具が衛生に保てるようにし、疾病予防に努める	利用者12人(2人) ( )内は新規利用者数	101	新規利用者数	11	11	12	B	B	C	事業自体は利用者も目標数を満たしているなど事業内容としては問題は無いが、他の事業への代替えを検討する余地はある。	縮小	軽度生活援助事業の内容とを検討し、縮小又は軽度生活援助事業への吸収を検討していく。	長寿介護課
54	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	ねたきり老人等紙オムツ助成事業	・高齢者福祉の充実 ・使用している紙オムツ購入に対し、その一部を助成することにより介護家庭の経済的負担軽減	・寝たきり高齢者等で常時紙オムツに排泄する方に対し、紙オムツ購入の一部を助成し、介護による経済的負担軽減を行う ・年4回引換券郵送(月2000円) ・申請後、職員の訪問による確認作業後に可否決定	・全体数 167名 (内 新規利用者 47名)	2,753	新規利用者数	38	60	47	B	A	B	・高齢者が在宅で生活していく上で、困難な部分を援助するために必要なサービスである。	維持	・制度の周知を行い、利用者数の増を目指して、事業を実施していく。	長寿介護課
55	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	デイサービスセンター建設費借入金償還費補助	「社会福祉法人の助成に関する条例」に基づき助成金を支給する	平成12年度デイサービスセンター光湖苑建設事業借入金償還金の補助 ・元金 県:1/2×60% 市:1/2 法人1/2×40% ・利子 県:1/3×60% 市:2/3 法人1/3×40% 平成14年度開始 平成33年度終了	償還金額の計画に基づき1,215,350円を補助した	1,216	計画実行率	100	100	100	A	A	A	社会福祉法第58条第1項の規定に基づく補助金であり、償還計画にのっとった補助である。	維持	終了年度の平成33年度まで、減少しつつも継続実施していく。	長寿介護課
56	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	生活管理指導短期宿泊事業	介護保険外の虚弱な高齢者を対象にショートステイを実施し、自立生活の助長と介護予防	・市内介護保険関連施設への短期間宿泊実施 ・介護者の冠婚葬祭等やむをえない用事で虚弱な高齢者を見ることができない場合に利用できる ・虐待等緊急事態対応にも利用	利用者2人	92	利用者数(人)	0	2	2	B	B	B	一時的に利用するサービスであるが、在宅生活を維持するためには必要。	維持	より効果的な、事業の周知・啓発を図っていく。	長寿介護課
57	2-⑦ いつまでも生きと暮らす	3	1	7	高齢者バス等利用料金助成事業	高齢者のバス・タクシー利用料の一部を助成することにより社会活動を促進し、経済的負担の軽減を図る	75歳以上の在宅の高齢者に対し、年間100円券×33枚を助成する	対象者 6,954人 申請者 2,404人 利用枚数 30,232枚	3,565	利用率(%)	34	42	35	B	B	B	タクシーの利用追加による利用率の増加を見込んでいる。	維持	今年度の利用率によっては助成額の増減や、一度での利用金額の制限設定等を検討する。	長寿介護課